

国語 一―二	中学校第一学年の内容 古典のリズムを味わう (平家物語)	名前	年 組 番
-----------	------------------------------------	----	-------

解説

一 現代語訳

祇園精舎の鐘の響きは、万物流転の常ならぬ世のさまを伝え、白々と散る沙羅双樹の花の姿は、栄える者の必ず滅びゆく道理を告げる。権力におごる者の運命は、春の夜の夢のようにはかなく、武に強い人の身の上もまた、ついには消えうせること、ひとえに風に吹き飛ぶ塵のようなものだ。

二 平家物語 解説

「平家物語」は、平家一門の栄枯盛衰を描いた軍記物語。平清盛をはじめとする平家一族がやがて源頼朝や源義経を中心とする源氏一族との戦いに敗れて滅んでいく様を描いたもの。成立年代は十三世紀半ば（鎌倉時代）といわれている。作者はさまざまな説があるが、いろいろな人によって書かれ、それが世にひろがっていったのであろうという説が有力なようだ。

三 あらすじ

平清盛が太政大臣となり権力を握り、平家一門は絶大な勢力を誇るようになる。しかしあまりのおごりぶりに人々は平家に反感を抱くようになる。やがて源氏方が相次いで兵を挙げ源平の戦いが始まる。その後平家は壇ノ浦の戦いで源義経に破れ滅亡する。

壇ノ浦で入水した清盛の娘建礼門院徳子だが、救助され大原寂光院で一門の冥福を祈る。建礼門院徳子の死で物語は終わる。

国語 一―六	中学校第一学年の内容 古典のリズムを味わう (論語)	名前	年	組	番
-----------	----------------------------------	----	---	---	---

解説

一 現代語訳

- 1 孔子先生がおっしゃるには「勉強したことを繰り返し考え、繰り返し行っているうちに、その道理がわかり、すらすら実行できるようになってくる。なんとよるこばしいことではないか。友達が遠方からたずねてくる。なんと楽しいことではないか。人が自分を理解してくれなくても心乱されることなく、常に道を楽しむことができる人であってこそ、本当の君子なのではないか。」と。
- 2 孔子先生がおっしゃるには、「先人が述べた学問、過去の歴史や学問の持つ意味をきわめて、そこから今にふさわしい意味が発見できるようになれば、人の師となる資格があるのだ。」と。
- 3 孔子先生がおっしゃるには、「学ぶだけで考えることをしないと物の道理は明確にならない。考えるだけで学ぶことをしないとひとりよがりになって危険だ。」と。
- 4 孔子先生がおっしゃるには、「自分が望まないことは、他人にしてはいけない。」と。

二 論語 解説

聖書につぐロングセラーと言われる論語は、儒教の祖である孔子とその弟子たちの話したことと行動とを、孔子の死後編集したものである。

三 論語の思想

論語の思想は、思いやり「仁」を基本として、まっすぐに生きる力(徳)を指す非常に人間味あふれたものである。知れば知るほど心が平明になり、つまらないこだわりから解き放たれる。心冴えわたる孔子の言葉は二五〇〇年以上経った今でも人々の心を冴えわたらす言葉となっている。

取り組んだ日 月 日

国語 二―一	中学校第一学年の内容 文語のきまり・訓読のしかた (歴史的かなづかい①)	名前	年	組	番
-----------	--	----	---	---	---

【歴史的かなづかいを現代かなづかいに直す四つの法則】

- 1 語中の「は・ひ・ふ・へ・ほ・む」は「わ・い・う・え・お・ん」と直す。
「あはれ」 ↓ 「あわれ」 「いへ」 ↓ 「いえ」
- 2 「ゐ・ゑ・を・ぢ・づ」は「い・え・お・じ・ず」と直す。
「まるる」 ↓ 「まいる」 「いゑ」 ↓ 「こえ」
- 3 「くわ・ぐわ」は「か・が」と直す。
「くわし」 ↓ 「かし」 「いちぐわつ」 ↓ 「いちがつ」
- 4 「う」が他の文字に続くと、読み方が変わる。
① 「あう」 ↓ 「おう」 あふぎ ↓ あうぎ ↓ おうぎ
② 「いう」 ↓ 「ゆう」 いうげん ↓ ゆうげん
③ 「えう」 ↓ 「よう」 こうえふ ↓ こうえう ↓ こうよう
てふてふ ↓ てうてう ↓ ちようちよう

問題 次の①～⑩の語について、例にならって現代かなづかいに直して、
すべてひらがなで書きましよう。

- 例 わらふ ↓ (わらう) ()
- ① かほり ↓ (かおり) () ② いはく ↓ (いわく) ()
- ③ ゑむ ↓ (えむ) () ④ ぐわいこく ↓ (がいこく) ()
- ⑤ をとこ ↓ (おとこ) () ⑥ もみぢ ↓ (もみじ) ()
- ⑦ けふ ↓ (きよう) () ⑧ あふさか ↓ (おうさか) ()
- ⑨ うつくしう ↓ (うつくしゅう) ()
- ⑩ まゐりて ↓ (まいりて) ()

取り組んだ日 月 日

国語 二―四	中学校第一学年の内容 文語のきまり・訓読のしかた (書き下し文)	名前	年 組 番
-----------	--	----	-------

基本事項確認

*漢文の訓読について

漢字ばかりの中国語の文を漢文(白文)と言います。昔の日本人は、漢文を日本語風に読む方法を開発しました。その読み方を「訓読」と言います。漢文を訓読するためには、中国語と日本語の「語の順番の違い」と「助詞と助動詞、用言の活用語尾が表記されない」という二つの違いをクリアする必要があります。

語の順番の違いは、漢文の左下に、「返り点」を書きました。中国語では表記されない言葉は、漢文の右下に「送りがない」(小さなカタカナ)で書きました。返り点と送りがないをつけた文を「訓読文」と言います。訓読文を漢字・仮名交じりに書き改めた文を「書き下し文」と言います。

白文・・・ 春 眠 不 覚 曉
訓読文・・・ 春 眠 不_レ 覚_エ_レ 曉_ヲ
書き下し文・・・ 春眠曉を覚えず

問題 次の文の中から書き下し文を二つ選び、記号で書きましよう。

(ア エ カ)

ア 少年老い易く、学成り難し

イ 不 亦 説 乎

ウ 我 読_ム_レ 書_ヲ

エ 百聞は一見に如かず

オ 不_レ 合_ハ_レ 理_ニ

カ 歳月人を待たず

キ 夜 来 風 雨_ノ 声

ク 花 落 知 多 少

国語 三一	中学校第一学年の内容 多様な語句 (語句の意味と文脈①)	名前	年	組	番	取り組んだ日 月 日
----------	------------------------------------	----	---	---	---	---------------

◎語句の意味と文脈

次の言葉は文脈によって違う意味に解釈できます。それぞれのよ
うな意味で用いられているか選びましょう。

1 病院

- ア 病院という建物や場所という意味
イ 所属する職員や医師などという意味
ウ 診療などの業務という意味

- ① 駅前の病院はとても評判がよい。(イ)
- ② ここから病院まで歩いて十分ほどだ。(ア)
- ③ 祝日もやっている病院を探す。(ウ)

2 ご飯

- ア 米飯という意味
イ 献立という意味
ウ 食事という意味

- ① 今日のご飯を何にするか考える。(イ)
- ② 運動をしたのでご飯がうまい。(ウ)
- ③ 土鍋を使ってご飯を炊く。(ア)

◎多様な語句の意味・使い方

次の文の に当てはまる言葉をそれぞれ選びましょう。

1

本位で書かれた記事に振り回されてはいけない。

(イ)

- ア 興味
- イ 興味

2

難病の治療法の研究に を注ぐ。

(ア)

- ア 心血
- イ 精神

3

眼下には 雪景色が一面に広がっている。

(イ)

- ア かぐわしい
- イ 美しい

4

私は毎朝六時に起きることを にしている。

(ア)

- ア 習慣
- イ 風習

取り組んだ日 月 日

国語 四十一	中学校第一学年の内容 単語の分類 (品詞①)	名前	年	組	番
-----------	------------------------------	----	---	---	---

次の各文から、指定された品詞の単語を抜き出しましょう。

① 雨がざあざあ降ってきた。

名詞

(雨)

② 外は寒い。しかし、部屋は暖かい。

接続詞

(しかし)

③ 電車がゆっくり走る。

副詞

(ゆっくり)

*主に用言を修飾しています。

④ あらゆる手段を使う。

連体詞

(あらゆる)

*体言を修飾しています。

⑤ ご飯がおいしい。

形容詞

(おいしい)

品詞について

名詞：物の名前・事柄を表す言葉。

接続詞：つなぐ働きをする言葉。

副詞：用言を修飾する言葉。「どのように」「どのくらい」「などを表す。

連体詞：体言を修飾する言葉。「どの」「どんな」を表す。

形容詞：性質・状態を表す言葉。

国語 四一二	中学校第一学年の内容 単語の分類 (品詞②)	名前	年	組	番
-----------	------------------------------	----	---	---	---

取り組んだ日	月	日
--------	---	---

次の各文から、指定された品詞の単語を抜き出しましょう。

① きれいな花が咲く。

形容動詞

(きれいな)

*左の表をヒントに考えてください。

② おはよう、今日もいい天気だね。

感動詞

(おはよう)

*感動詞には「呼びかけ」「応答」などがあります。

③ 会議に参加する。

動詞

(参加する)

*「〇〇する」はよく出てきます。

④ 美しい庭を眺める。

名詞

(庭)

⑤ 毎日楽しく暮らす。

形容詞

(楽しく)

*左の表をヒントに考えてください。

形容詞の活用

かる かつ・く いい けれ ○

形容動詞の活用

だろ だっ・で・に だ な なら ○

国語 四―三	中学校第一学年の内容 単語の分類 (品詞③)	名前	年	組	番
-----------	------------------------------	----	---	---	---

取り組んだ日	月	日
--------	---	---

次の各文から、指定された品詞の単語を抜き出しましょう。

① 公園で遊ぶ。

助詞

() で ()

② 予想通りの結果です。

助動詞

() です ()

③ 千円で何個でも食べられる。

助動詞

() られる ()

*「食べる」+「られる」に分けられます。

④ 雨が降る。

助詞

() が ()

⑤ 学校に集まる。

助詞

() に ()

<p>助詞：活用しない付属語。 助動詞：活用する付属語。</p>

国語 四―四	中学校第一学年の内容 単語の分類 (品詞の違い)	名前	年	組	番
-----------	--------------------------------	----	---	---	---

取り組んだ日	月	日
--------	---	---

次の―線の「ない」を、①助動詞 ②形容詞 に分類しましょう。

- 1 山にはゴミ箱はない。() ②
- 2 狭い庭では花も育てられない。() ①
- 3 読書は生活に欠かせない。() ①
- 4 元気でいられることは当たり前ではない。() ②
- 5 暗くて周りがよく見えない。() ①
- 6 命に別状はないそうだ。() ②

〈ヒント〉

「ない」の見分け方：「ない」を「ぬ」に置き換える。

意味が通じたら、「助動詞」。

意味が通じなかったら、「形容詞」。

取り組んだ日 月 日

国語 五―一	中学校第一学年の内容 語句のはたらき (指示語①)	名前	年	組	番
-----------	---------------------------------	----	---	---	---

次の文章を読み、あとの問題に答えましょう。

「母さんの話は極端すぎるよ」
達也は、そう言い残して自分の部屋のある二階へと逃げる
ように上がっていった。

小・中学校 東京都道徳教育読み物資料集より

問題 文章中の―線部「そう」は何を指しますか。文章中から抜き
出しましょう。

「母さんの話は極端すぎるよ」

取り組んだ日 月 日

国語 五―三	中学校第一学年の内容 語句のはたらき (接続詞①)	名前	年	組	番
-----------	---------------------------------	----	---	---	---

次の文を読んであとの問いに答えましょう。

ガリレオ・ガリレイは、大学で様々な学問などを学びましたが、目指すものがなかなか定まりませんでした。

(**しかし**)、若きガリレオにとって、大きな啓示を受ける運命的な出会いがありました。それは、ガリレオがトスカーナ宮廷を訪ね、宮廷付きの数学者であるオステイオ・リッチの講義を、偶然聞いたときのことです。ガリレオは、リッチの講義に魅了され、教えを請います。そして、リッチの自宅で、自由で実用的な学問の教えを受けるようになりました。(**やがて**)、ガリレオは、数学に類いまれな才能を發揮し始め、ピサ大学、パドヴァ大学の教授を歴任しながら、多くの功績を挙げていきました。

「心みつめて」真実から真理を求める―ガリレオ・ガリレイ―より

1 文中の空欄らんに当てはまる言葉を次の□の中から選んで書きましょう。

だから	しかし	やがて	さらに	つまり
-----	-----	-----	-----	-----

2 文中の―線「それ」が指しているものを抜き出しましょう。

(**運命的な出会い**)

国語 六一一	中学校第一学年の内容 表現技法①	名前	年	組	番
-----------	---------------------	----	---	---	---

取り組んだ日	月	日
--------	---	---

1 次の文の中から比喩ひゆの部分を見つけて線を引きましょう。また、比喩の種類を、あとのア〜ウから選び、記号で書きましょう。

- ① 彼はライオンのように走っていた。 (ア)
- ② あの子は人形みたいにかわいいね。 (ア)
- ③ 雨が降らず、まるで砂漠さばくのようだ。 (ア)
- ④ 人生は航海だ。 (イ)
- ⑤ 山が笑っている。 (ウ)

ア 直喩 イ 隠喩いんゆ ウ 擬人法

2 次の文中で使われている表現技法は何ですか。あとのア〜ウから選び、記号で書きましょう。

- ① 静かさや岩にしみいる蝉の声 (ア)
- ② 彼は遠い遠い国へ行ってしまった。 (ウ)
- ③ 歩いていく、どんな困難あに遭おうとも。 (イ)
- ④ 空に飛び立つ鳥。 (ア)
- ⑤ それは小さな小さな花でした。 (ウ)

ア 体言止め イ 倒置法 ウ 反復法

国語 六一二	中学校第一学年の内容 表現技法②	名前	年	組	番
-----------	---------------------	----	---	---	---

取り組んだ日	月	日
--------	---	---

◎次の文の中で使われている表現技法は何ですか。あとのア～キの中から選び、記号で書きましよう。

- ① 歩いていく、どんな困難に遭^あおうとも。(イ)
- ② あの人は鬼だ。(カ)
- ③ 彼女の歌声はまるで波のようだった。(オ)
- ④ あなたは天使だ。(カ)
- ⑤ 帰ってきたよ、彼が。(イ)
- ⑥ 海が怒っている。(キ)
- ⑦ 大きな大きなお城がありました。(ウ)
- ⑧ 自分の意志を貫く、誰に反対されようと。(イ)
- ⑨ 教室から聞こえる男の子たちの声。(ア)
- ⑩ 雲が泣いている。(キ)

- ア 体言止め
- イ 倒置法
- ウ 反復法
- エ 省略法
- オ 直喩
- カ 隠喩^{いんゆ}
- キ 擬人法